

# 3/15(火)の行事

報道発表資料の配付日時 28年3月7日(月)

発表項目 (行事名)	冬期の温室における水稲収穫(刈り取り作業)について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日( ) 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>次のとおり道総研上川農業試験場温室で水稲収穫(刈り取り作業)を行います。</p> <p>1 場 所 上川農業試験場温室(上川郡比布町南1線5号)</p> <p>2 日 時 平成28年3月15日(火)午前9時～11時</p> <p>3 内 容 昨年夏期に上川農試および中央農試(岩見沢試験地)にて交配して得られた種子(F<sub>1</sub>世代の種子)から、上川農試温室で一括して育苗し、昨年11月13日に移植後、冬期間の温室で稔った種子(F<sub>2</sub>世代の種子)を収穫(刈り取り)します。</p> <p>4 目 的 冬期に温室で栽培することにより、1世代の世代促進を行い、育種年限(交配から品種になるまでの年数)の短縮を図ります。 ここで収穫される種子は、本年4月上旬に道総研道南農業試験場(北斗市)に送付され、大型温室で2期作を行います。 その後、世代促進された育種材料は平成29年春に上川農試および中央農試(岩見沢試験地)へそれぞれ送付され、水稲新品種開発に向けた選抜作業が開始されます。</p>		
参 考			

報道(取材) に当たって のお願い	<p>当日の積極的な取材についてよろしくお願ひします。</p> <p>なお、当日の作業都合により、取材開始時刻(午前9時)を過ぎても、少々お待ちいただく場合がありますので、皆様のご協力お願ひします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担 当 (連絡先)	<p>地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 上川農業試験場 研究部 水稲グループ(担当者:西村) 電話 0166-85-4115(直通) E-mail: nishimura-tsutomu@hro.or.jp</p>		
--------------	---	--	--

## 冬期の温室における水稲収穫（刈り取り作業）に関する資料

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場  
水稲グループ

水稲の品種育成には長い年月を費やすことから、少しでも育種年限を短縮するため、上川農試では昭和 30 年より冬期に温室を利用して世代促進を行っています。本年度も例年同様に冬期温室にて雑種第一代（F<sub>1</sub>）の養成を行うため、昨年 11 月 13 日に田植え（移植作業）をした後、本年 3 月 15 日に刈り取り作業を行います。

なお、北海道立総合研究機構（略称：道総研）における水稲育種体制の効率化を目的に、平成 25 年度から、中央農試（岩見沢試験地）で交配された育種材料の F<sub>1</sub> も上川農試で養成しています。

上川農試では水稲の品種育成について、以下の目標をもって試験を進めています。

- ① 「ゆめぴりか」や「ななつぼし」に優る良食味のうるち品種。
- ② 良質で耐冷性、耐病性の優れた糯（もち）品種。

中央農試では水稲の品種育成について、以下の目標をもって試験を進めています。

- ① 「きらら 397」に優る業務・加工用に向かうるち品種。
- ② 「吟風」「彗星」に優る酒米品種

また、中央農試（主管場）・上川農試にて、直播栽培可能な業務・加工用や良食味のうるち品種育成に向け、試験を進めています。

### 1. 試験目的

今年度夏期に人工交配を行い、稔った F<sub>1</sub> 種子を冬期に温室で養成して、一世代分の世代促進を図り、育種年限（交配から品種になるまでの年数）を短縮する。

### 2. 供試材料

- ・昨年夏期に交配した 68 組合せ(上川農試)および 69 組合せ(中央農試)、計約 6,300 株の F<sub>1</sub>
- ・比較品種（「大地の星」、「ななつぼし」、「きらら 397」、「ゆめぴりか」および「しろくまもち」、「きたふくもち」、「きたゆきもち」、「風の子もち」

### 3. 耕種作業概要

- ・播種日：平成 27 年 10 月 20 日
- ・移植日：平成 27 年 11 月 13 日
- ・収穫日：平成 28 年 3 月 15 日
- ・栽植様式 条間 : 12 cm、株間 : 12 cm

### 4. 温室概要

- ・温室面積(1 棟あたり)：20.4m×6.3m=128.5 m<sup>2</sup>、2 棟使用
- ・水田ベッド面積（1 ベッドあたり）：18.0m×1.5m=27.0 m<sup>2</sup>（内寸法）、1 棟 2 ベッド

### 5. 温室の温度設定

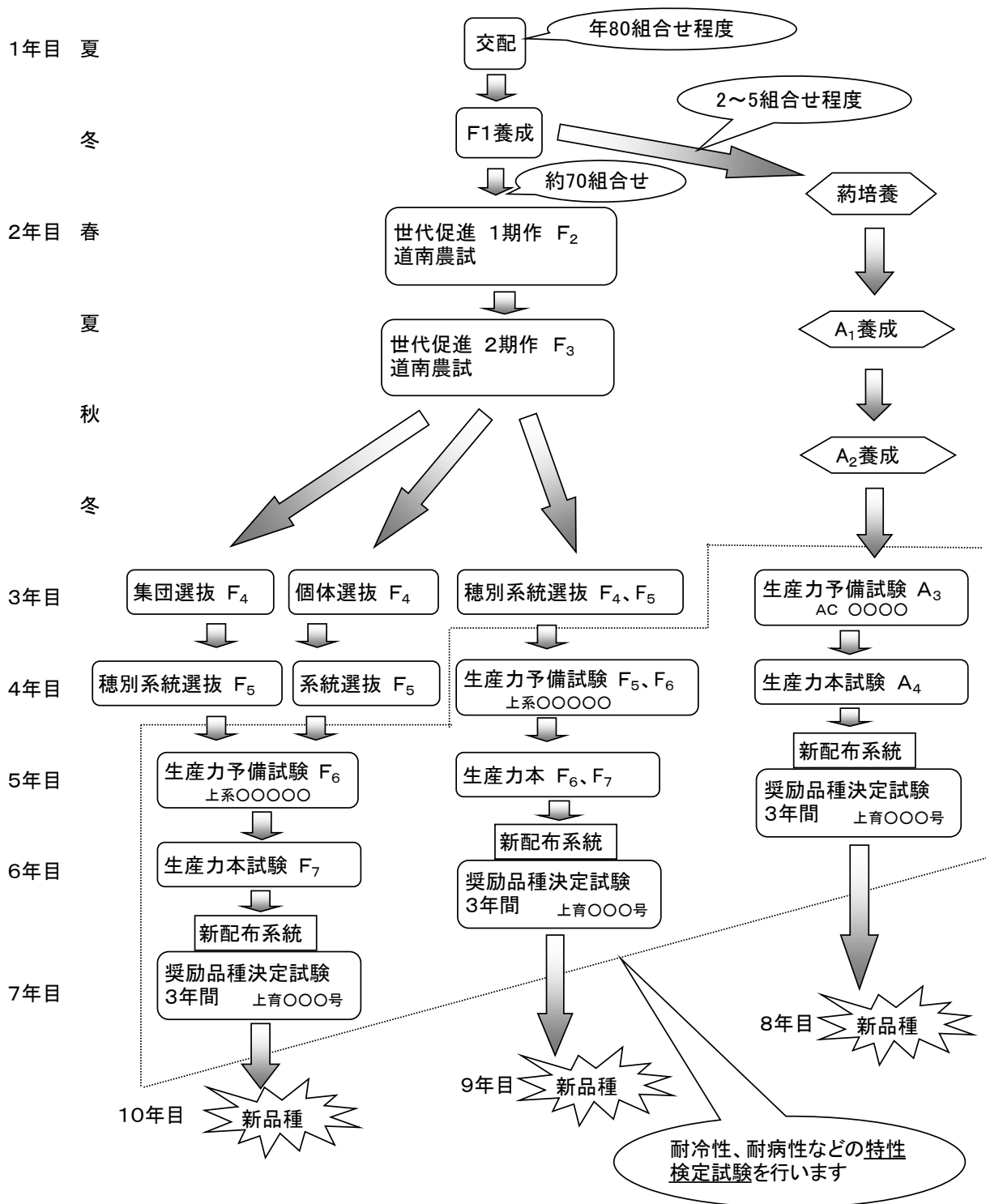
- ・移植から 11 月下旬まで 昼—夜 : 20℃—15℃
- ・12 月上旬から中旬まで 昼—夜 : 25℃—20℃
- ・12 月下旬から収穫まで 昼—夜 : 28℃—20℃

## 6. 今後の材料の流れ

イネを本年 3 月 15 日に刈り取り、同年 4 月上旬に上川農試、中央農試分合わせて 100 組合せ程度を道南農試（北斗市）に送付します。道南農試では大型温室で 2 期作を行い、さらなる世代促進を経た後、平成 29 年 3 月に上川農試、中央農試それぞれに返送されます。同年 4 月から各農試の水田で選抜が開始され、特性の優れたものが品種となります。

今回温室で養成された交配組合せのうち、品種になるのは最も早くて平成 34 年です。

# 水稻品種育成の流れ(上川農試)



[参考資料]

表1. 北海道水稻優良品種一覧(平成28年2月現在)

区分	品種名	優良品種 決定年次	育成場	平成26年作付面積		
				実数値(ha)	比率(%)	
うるち	早生 ほしまる	平成18年	上川農試 グリーンバイオ 研究所*	642	0.6	
	中生	ゆきひかり	昭和59年	中央農試	115	0.1
		きらら397	昭和63年	上川農試	21,180	20.3
		ほしのゆめ	平成8年	上川農試	3,277	3.1
		吟風	平成12年	中央農試	220	0.2
		ななつぼし	平成13年	中央農試	46,119	44.3
		あやひめ	平成13年	上川農試	215	0.2
		大地の星	平成15年	上川農試	947	0.9
		おぼろづき	平成17年	北農研	4,206	4
		彗星	平成18年	中央農試	55	0.1
		ゆめぴりか	平成20年	上川農試	16,845	16.2
		きたくりん	平成24年	中央農試	1,084	1
		きたしずく	平成26年	中央農試	22	0
		そらゆき	平成26年	中央農試	34	0
		空育181号	平成28年	中央農試	-	-
晩生 ふっくりんこ	平成15年	道南農試	7,150	6.9		
もち	早生 はくちょうもち	平成元年	北見農試	2,678	34.2	
	きたゆきもち	平成21年	上川農試	1,947	24.8	
	きたふくもち	平成25年	上川農試	113	1.4	
	中生 風の子もち	平成7年	上川農試	3,091	39.4	

注 1) 引用文献: 米に関する資料[生産・価格・需要]平成27年7月 北海道農政部

注 2)\*印: 現 ホクレン農業総合研究所

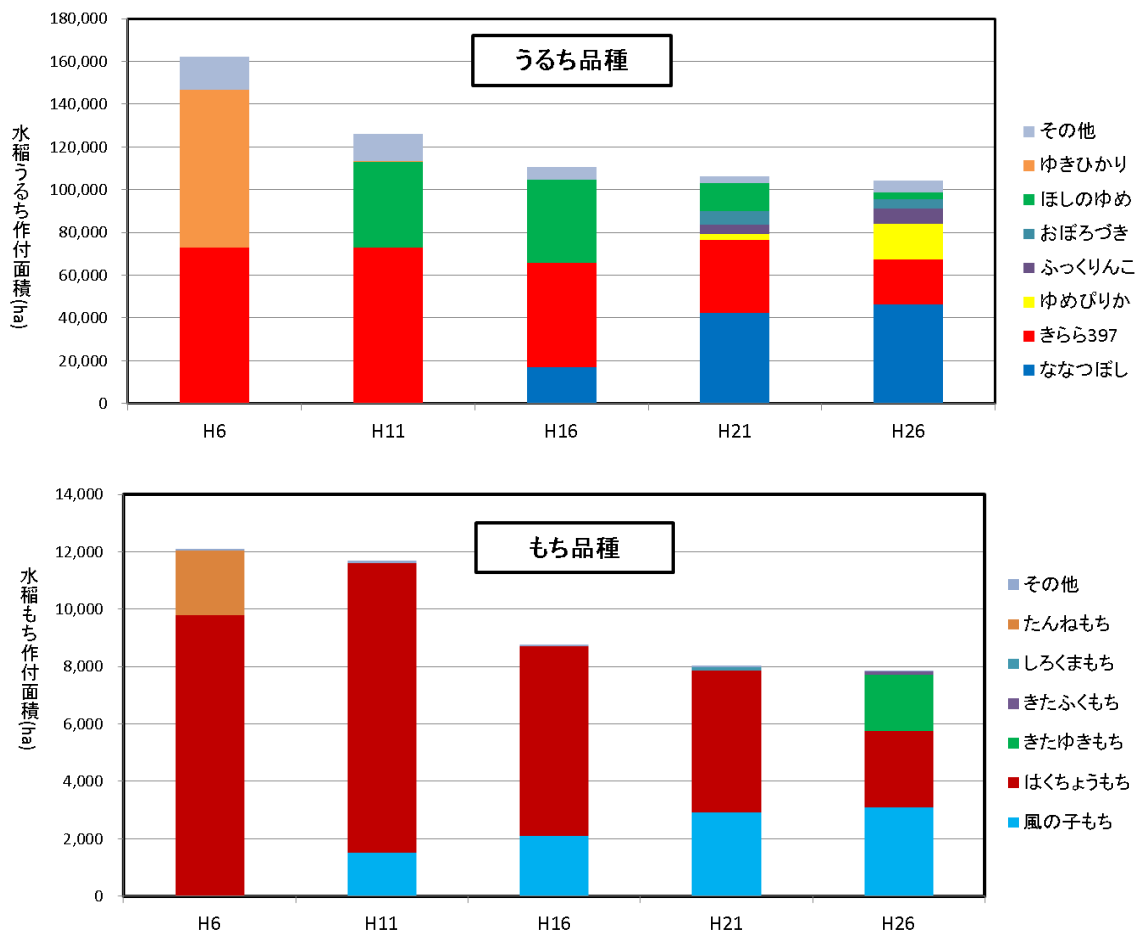


図1 北海道水稲品種の作付面積の推移(平成6~26年、5年毎)